

題名 戦争を語り継ぐ役目と平和を守る責任

鹿沼市立北中学校 (氏名) 飯野 つばさ



この夏戦争の悲惨さと平和の尊さを深く学ぶ貴重な機会をいただきました。原爆が投下された爆心地に自分の足で立ち静かに默祷を捧げながら 80 年前の今日同じ時間同じ場所にいた人々は一瞬にして火の海になり何もかもが奪われてしまったのだと改めて戦争の恐ろしさを感じました。資料館で目にした写真や証言はどれも目を覆いたくなるようなものばかりでした。

戦後も被爆した影響で一生苦しまされると知り、戦争に終わりなどないと感じました。

戦争とはテレビや授業で知る程度のどこか遠い過去の歴史だと思っていた。しかし、今回の派遣事業で平和なことがどれだけ大切なことか、戦争は絶対に繰り返してはいけない、自分達の手で未来を守ることの責任を改めて感じました。

同じ瞬間に立ち会えたかけがえのない仲間達と共に、次世代へ繋いでいく責任を担ったのだと強く意識しました。